

<センター通信 11月号>

かかりつけ医を持ちましょう

地域総合医療センター

藤崎 芙紗子

■ かかりつけ医とは

風邪などで体調が悪い時に診てもらったり、自分や家族の健康状態の相談に乗ってくれたりする身近にいる医師のことです。

■ かかりつけ医のメリット

健康に関するあらゆる相談に乗ってくれます。

例えば、風邪をひいたとき、インフルエンザの予防接種を受けたいとき

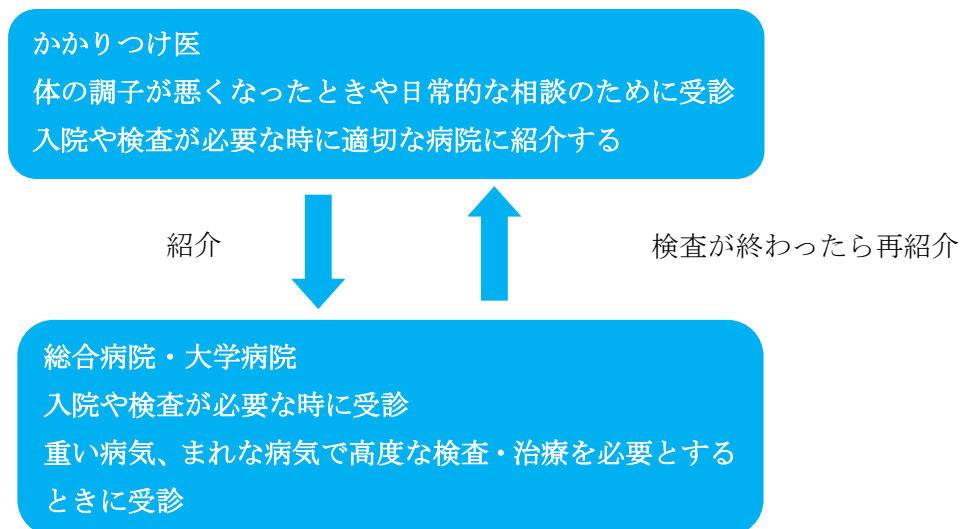
大きな病院を受診したほうがいいか悩んだとき、たばこをやめたいと思ったとき等

自分や家族の普段の様子をよく知っており、もしもの時に少しの体調の変化に気が付いてもらえます。

入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえます。

食事や運動など日常的な健康管理のアドバイスをもらえます

■ かかりつけ医のしくみ



■ 大学病院・総合病院とかかりつけ医の違い

	大学病院・総合病院	かかりつけ医
診療の対象	患者さんだけ	家族や社会も視野に入れる
扱う問題の数	単一の問題を扱う	複数の問題を扱うことも多い
かかるタイミング	専門分野の症状が出た時	ライフサイクルに合わせて
継続性	問題が解決すれば関係が終了	問題解決後も関係は継続
診察にあたる医師	曜日により異なる 異動が頻繁にある	毎日同じ 長い期間務める

■ このようなかかりつけ医を探しましょう

話をしっかり聞いてくれる。

病気のことや検査や治療についてわかりやすい言葉で説明してくれる。

自分や家族の意思を尊重してくれる。

家や勤務先の近くなどで通いやすいということも大切です。

より健やかな人生を送るために自分の人生を
一緒に歩んでもらえるかかりつけ医をもちましょう

